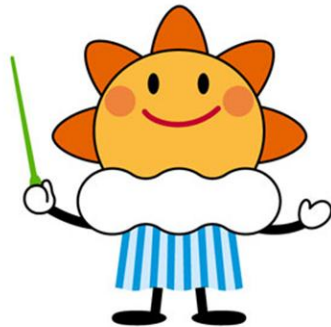


静岡県気候の変化 および 気候変動への対応

資料4



静岡地方気象台

持続可能な開発目標（SDGs）の ひとつの目標である気候変動への対策

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



パンフレット『持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組み』（外務省作成）より



©静岡県

目標13 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

気候に何が起きているの？

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が
2021年8月に公表した報告書によると・・・

- 人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきた
ことには**疑う余地がない**。

➡ 人間活動によって排出された温室効果ガス（二酸化炭素など）
によって気温、海水温が上がっている！

- 人為起源の気候変動は、世界中の全ての地域で、多くの
気象及び気候の極端現象に既に影響を及ぼしている。

➡ 極端な高温、大雨、干ばつ、熱帯低気圧など、極端な気象現象
にも既に影響が出ている！

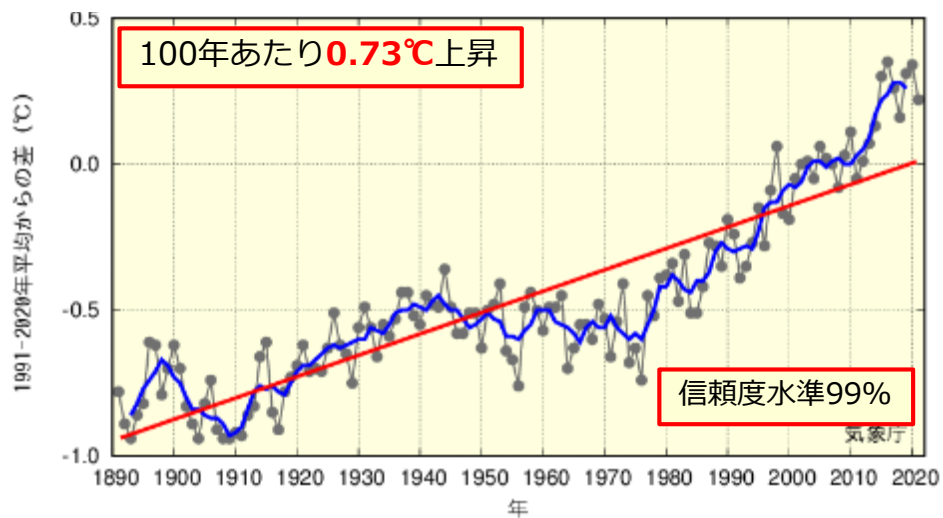
具体的に、どんなことが起きているのでしょうか？



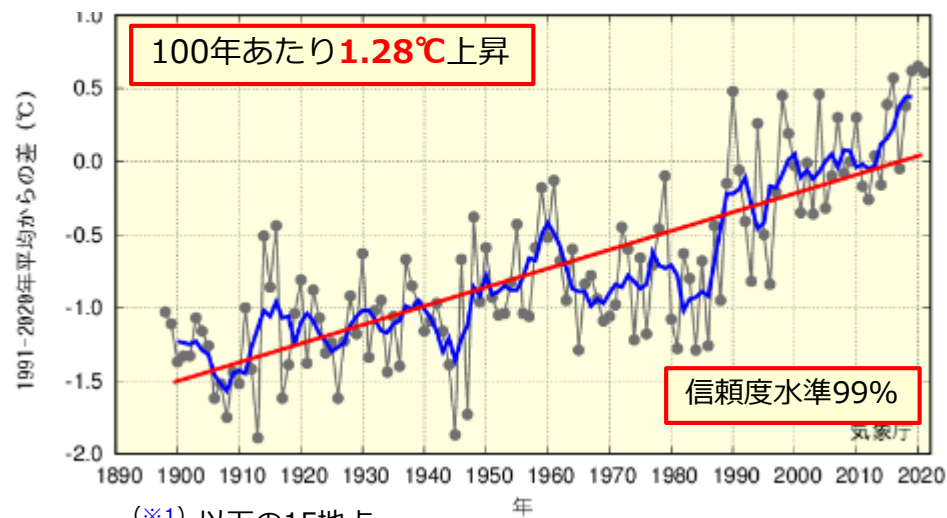
年平均気温の変化

※いずれも2021年まで

世界の年平均気温偏差



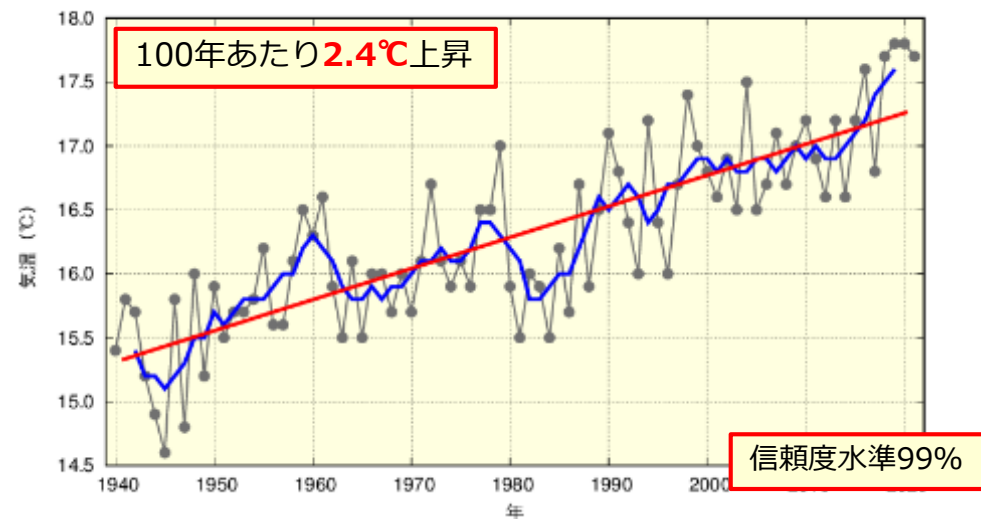
日本(※1)の年平均気温偏差



(※1) 以下の15地点

網走、根室、寿都、山形、石巻、伏木、飯田、銚子、境、
浜田、彦根、多度津、宮崎、名瀬、石垣島

静岡の年平均気温



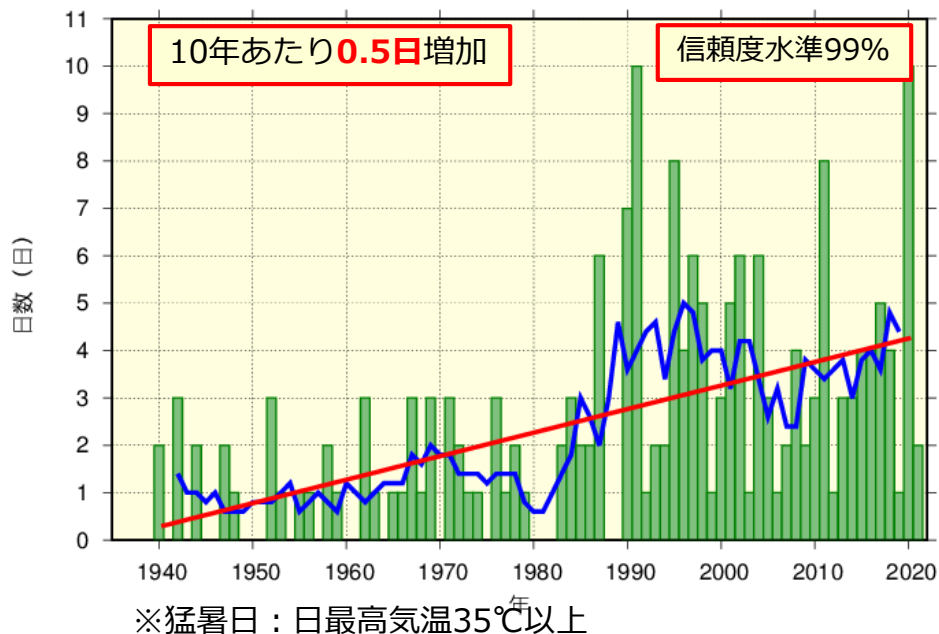
有意な上昇がみられる。

← **ヒートアイランド現象の影響も？**

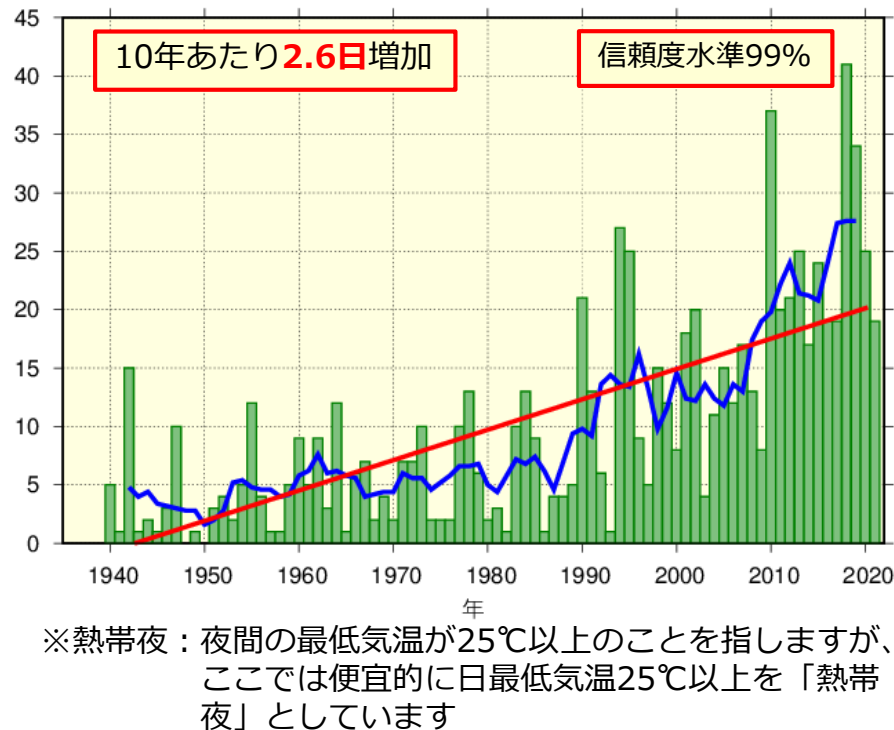
静岡の猛暑日・熱帯夜の日数

※2021年まで。

静岡の猛暑日の日数



静岡の熱帯夜の日数

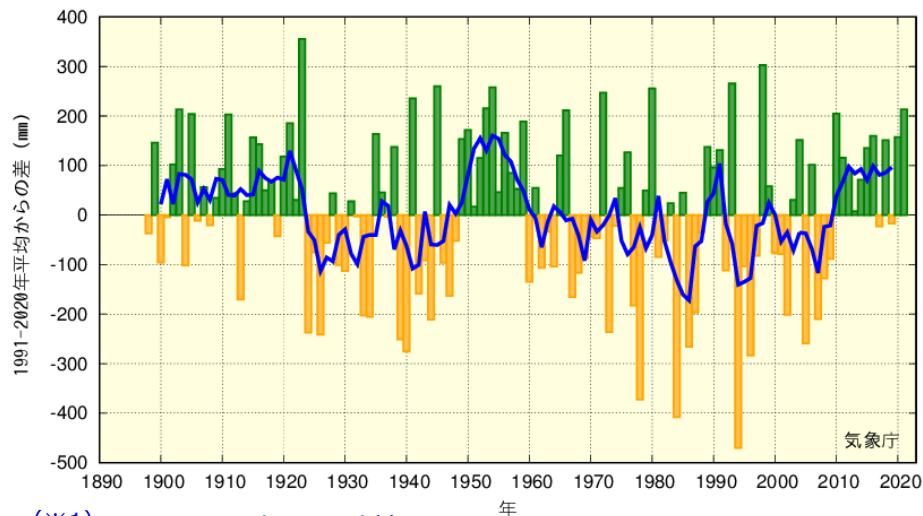


有意な増加がみられる。

年間の降水量（偏差）の変化

※いずれも2021年まで。（統計開始は地点によって異なる。）

日本（※1）の年降水量偏差



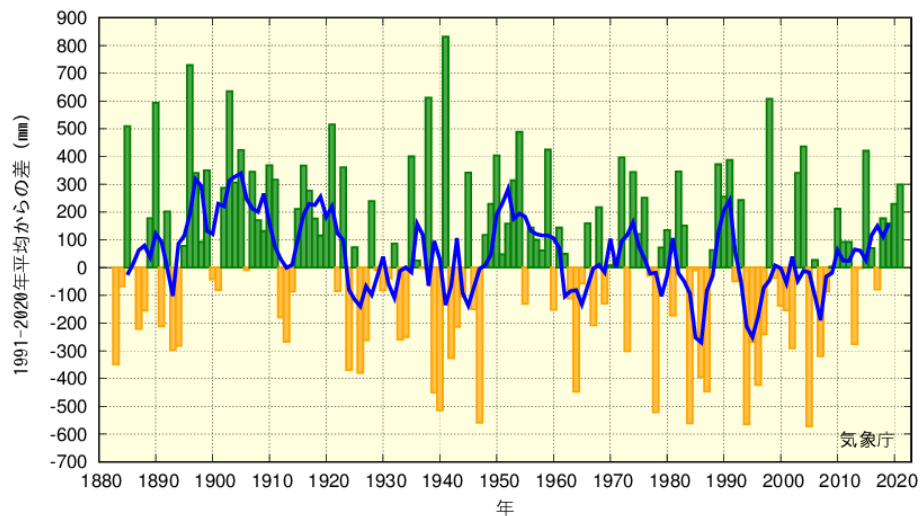
（※1）以下の51地点で計算

旭川、網走、札幌、帯広、根室、寿都、秋田、宮古、山形、石巻、福島、伏木、長野、宇都宮、福井、高山、松本、前橋、熊谷、水戸、敦賀、岐阜、名古屋、飯田、甲府、津、浜松、東京、横浜、境、浜田、京都、彦根、下関、呉、神戸、大阪、和歌山、福岡、大分、長崎、熊本、鹿児島、宮崎、松山、多度津、高知、徳島、名瀬、石垣島、那覇

（※2）以下の14地点で計算

岐阜、高山、静岡、浜松、御前崎、三島、石廊崎、網代、名古屋、伊良湖、津、尾鷲、上野、四日市

東海地方（※2）の年降水量偏差

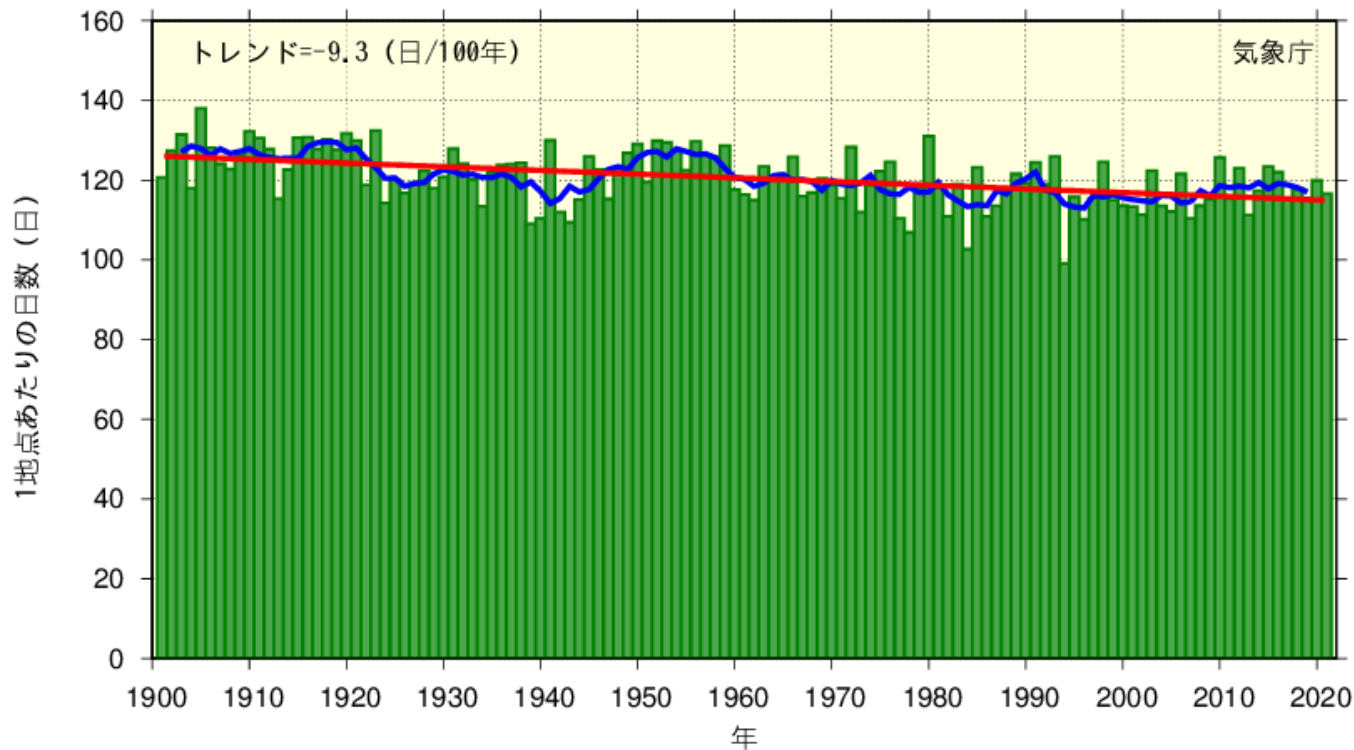


年ごとの変動が大きく、明瞭な増減傾向はみられない。

無降水日数の変化

※2021年まで。

全国（51地点）の日降水量1.0mm以上の日数



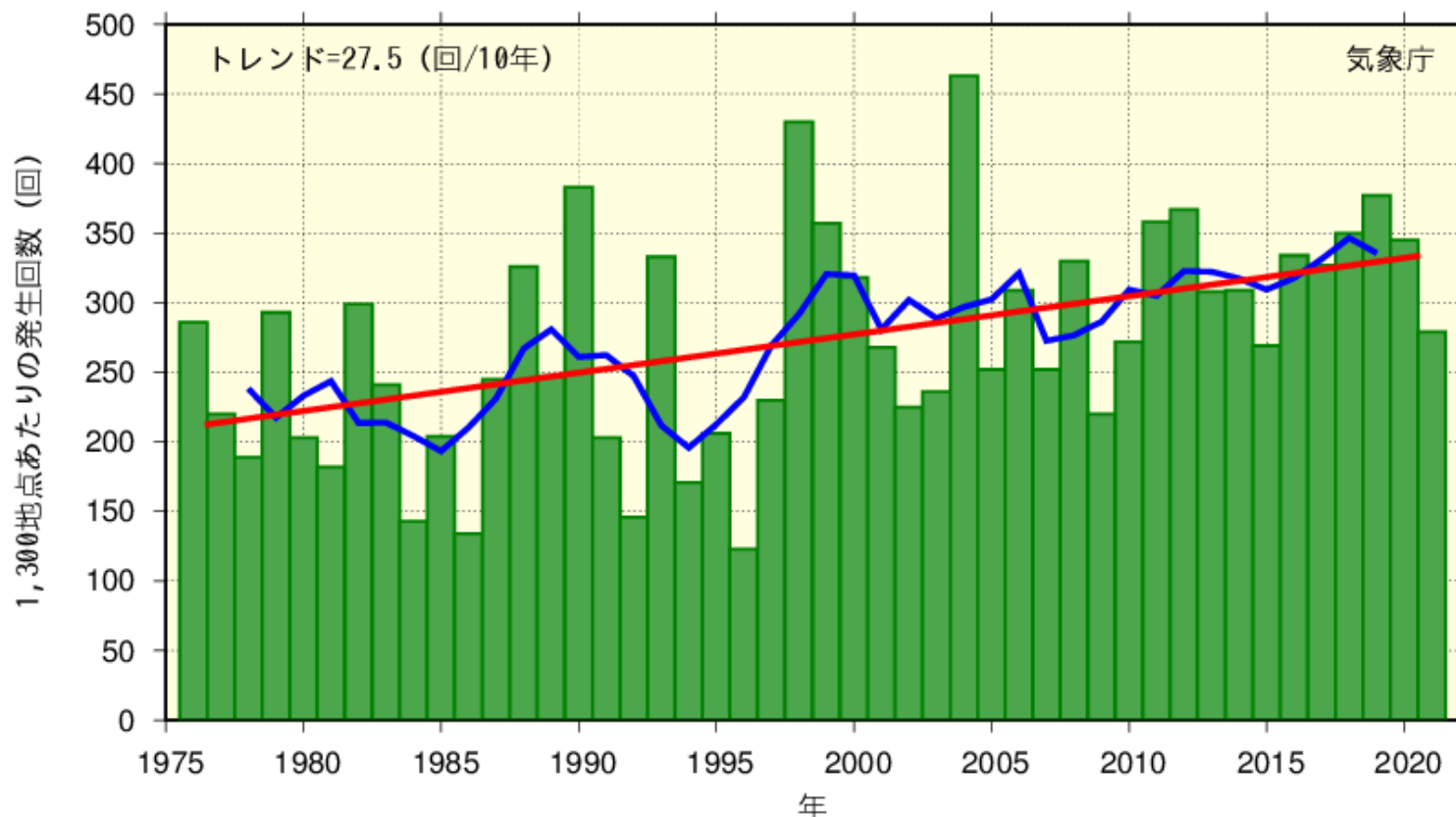
1ミリ以上の雨の降る日が減っている。

= 雨の降らない日が増えている。

1時間降水量50mm以上の日数

※2021年まで。

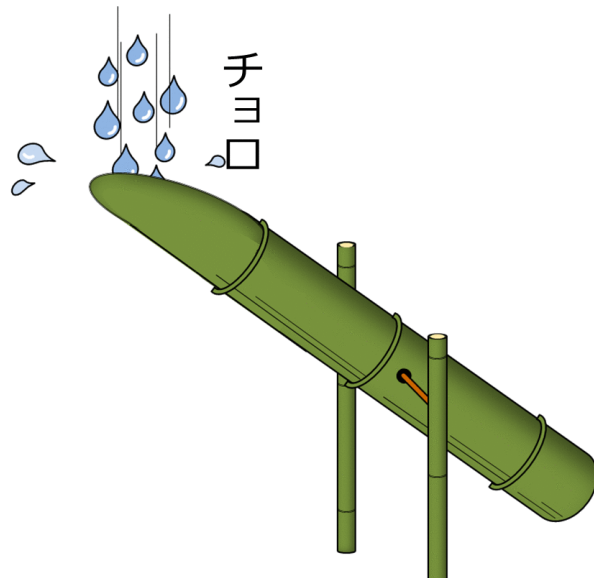
全国（アメダス地点）の1時間降水量50mm以上の年間発生回数



有意な増加がみられる。

※アメダスは統計期間がまだ45年程度と短いので、変化傾向を確実に捉えるためには、今後のデータの蓄積が必要。

全体の雨量は変わらず、降る日が減り、大雨となることが増えている。




たまって傾くまでに時間がかかる = 雨の降る日の減少
傾いた時にこぼれる水の量が増える = 大雨の増加

鹿威しの筒が太くなる（空気中にためられる水の量が増える）

地球温暖化による対流圏大気の**気温上昇**に伴い、大気中に含まれる**水蒸気量が増加**していることが寄与している**可能性**がある。

将来はどうなるの？

観測から、気温 、短時間に降る強い雨  だけど、
21世紀末にはどうなるの？

パリ協定の目標を達成した場合（2℃上昇シナリオ）

「世界の平均気温上昇を、産業革命前に比べて2℃より十分低く保つ」を達成した場合。

参加する全ての国が、それ相当の
温室効果ガス排出削減を行う必要がある

今以上の対策を取らなかった場合（4℃上昇シナリオ）

いま以上の温室効果ガス排出削減対策を行わなかった
場合。

どんな将来が予測されているの？



<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ccj/index.html>

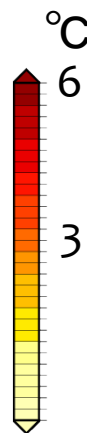
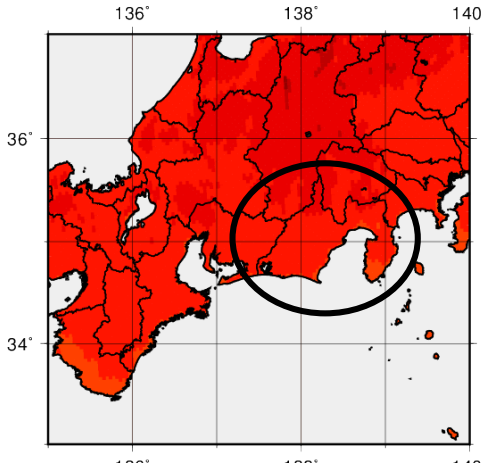
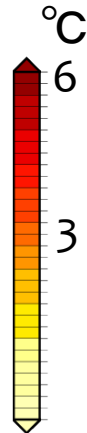
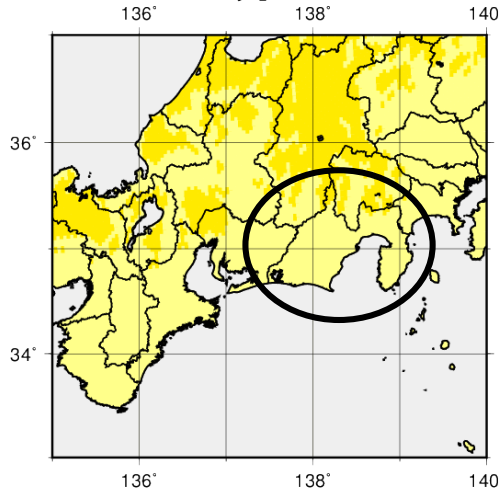
『気温の予測』

※20世紀末(1980～1999年平均)と
21世紀末(2076～2095年平均)の比較

▷ 静岡県の年平均気温の将来変化予測

2℃上昇シナリオ

4℃上昇シナリオ



**4℃上昇シナリオでは
4℃以上の上昇予測**

▷ 静岡県の猛暑日や熱帯夜の将来変化予測

	2℃上昇シナリオ	4℃上昇シナリオ
猛暑日	約3日増加	約22日増加
真夏日	約19日増加	約64日増加
熱帯夜	約15日増加	約61日増加
冬日	約11日減少	約24日減少

**4℃上昇シナリオでは、暑い日が大幅に
増え、寒い日が大幅に減る予測**

猛暑日：日最高気温35℃以上
真夏日：日最高気温30℃以上
熱帯夜：日最低気温25℃以上
冬日：日最低気温 0℃未満

『雨の予測』

※20世紀末(1980～1999年平均)と
21世紀末(2076～2095年平均)の比較

▷ 静岡県の雨の降り方の変化

	2℃上昇シナリオ	4℃上昇シナリオ
1時間降水量50mm以上の年間回数	—*	約2.1倍に増加
日降水量200mm以上の年間回数	—*	約2.0倍に増加
雨の降らない日※の年間日数	—*	約8日増加

※雨の降らない日:日降水量が1mm未満の日

* 当該要素については予測の信頼性が低いため評価しない

**4℃上昇シナリオでは大雨の発生回数や
雨の降らない日が増えると予測**